

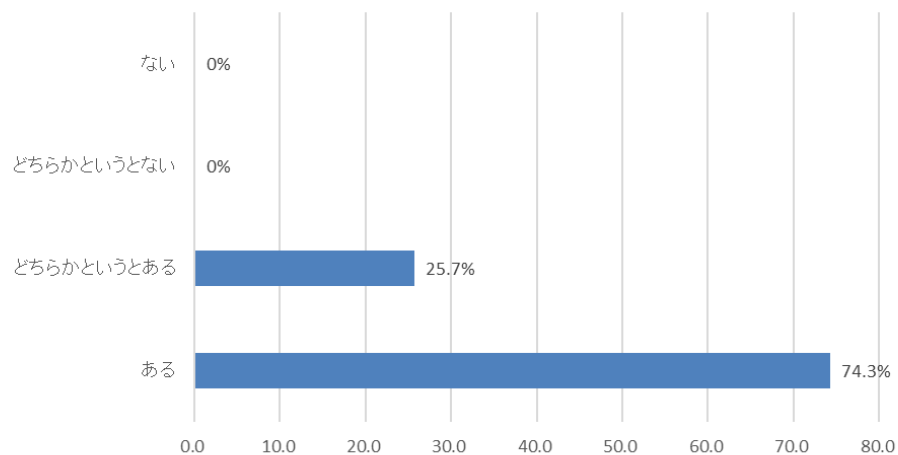
—英語先生対象—
新大学入学テストについての意識と対策
アンケート結果(概略)

- 実施期間：2020 年 1 月～3 月
- 実施主体：い い ず な 書 店 モ ニ タ ー 室
- アンケート項目数：46 問（選択項目 36 問、記述項目 10 問）
- 回答方法：ウェブアンケートツール クエスタント
- アクセス数：142
- 回答数：35
- 回答デバイス：スマホ 22.9%、タブレット 14.2%、PC62.9%、その他 0%

■文部科学省による大学入試改革について「不安」と考える先生が 10 割

文部科学省が進める大学入試改革について先生方はどのように受け止めているのか。い い ず な 書 店 モ ニ タ ー 室 が 今 年 1 月～3 月 に 英 語 の 先 生（回答数 35 名）にアンケートをしたところ、大学入試が変わることについて「不安である（74.3%）」「どちらかという不安である（25.7%）」と回答しており、大学入試改革を「不安」と考える先生が 10 割に上った。

[Q11]文科省による大学入試改革について不安はありますか。下記より一つお選びください。(n=35)

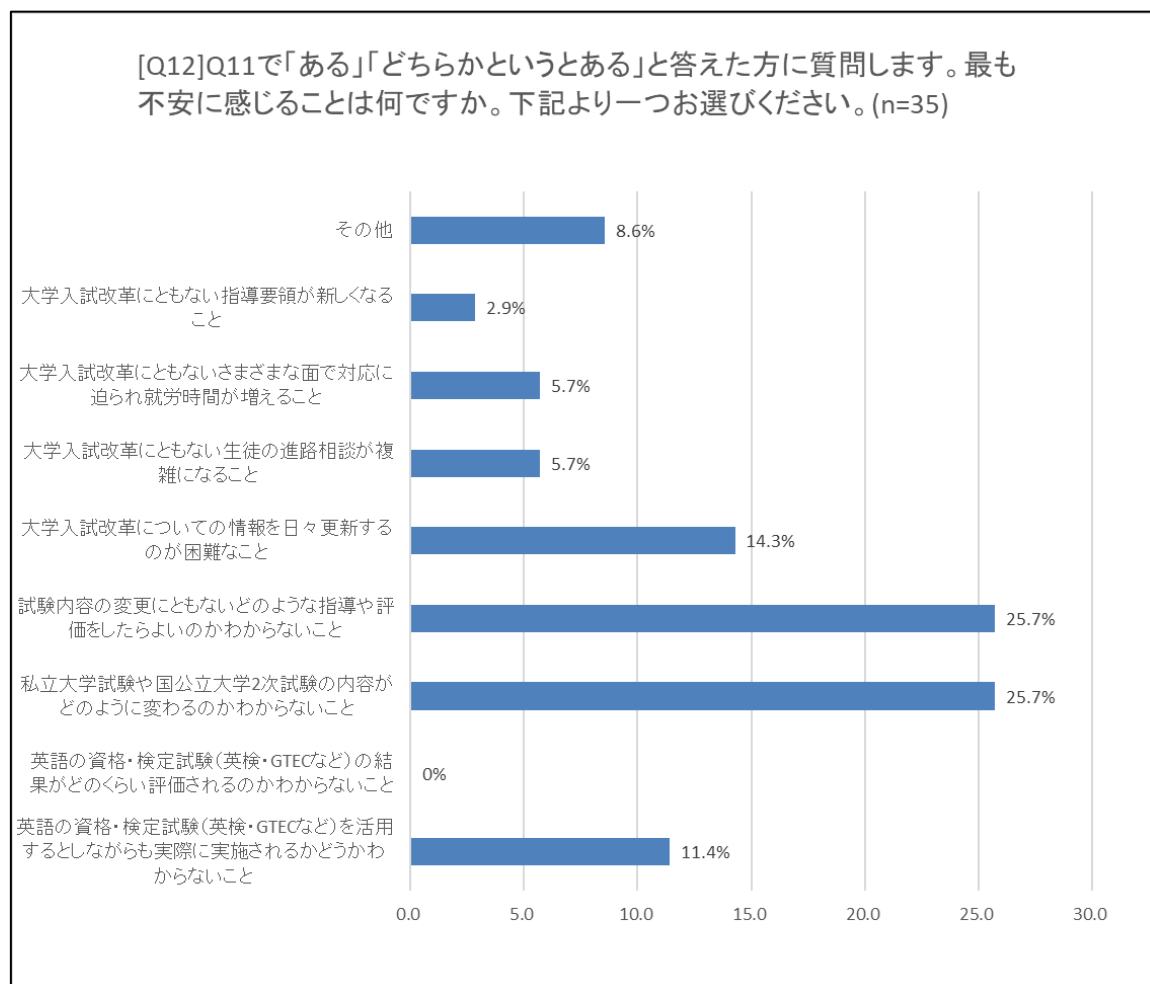


■「不安」と考える最大の要因は「私立大学試験や国公立大学 2 次試験の内容がどのように変わるのかわからないこと」と「試験内容の変更にともないどのような指導や評価をしたらよいのかわからないこと」

さらに、「不安である」「どちらかという不安である」と答えた先生に「最も不安に感じることは何か」（選択肢型）を聞いたところ、「私立大学試験や国公立大学 2 次試験の内容がどのように変わるのかわからないこと（25.7%）」「試験内容の変更にともないどのような指導や評価をしたらよいのかわからないこと（25.7%）」が最も多く、次いで「大学入試改革

についての情報を日々更新するのが困難なこと（14.3%）」が続き、さらに「大学入試改革にともない生徒の進路相談が複雑になること（5.7%）」「大学入試改革にともないさまざまな面に対応に迫られ就労時間が増えること（5.7%）」が続いた。

大学入学共通テストでの「民間試験」の活用は延期されたが、大学入試改革により「私立大学試験や国公立大学2次試験の内容がどのように変化するか分からないこと」「試験内容の変更にともないどのような指導や評価をしたらよいのか分からないこと」は今後想定されることであり、先生方の「不安」の大きな要因であることがうかがえる。



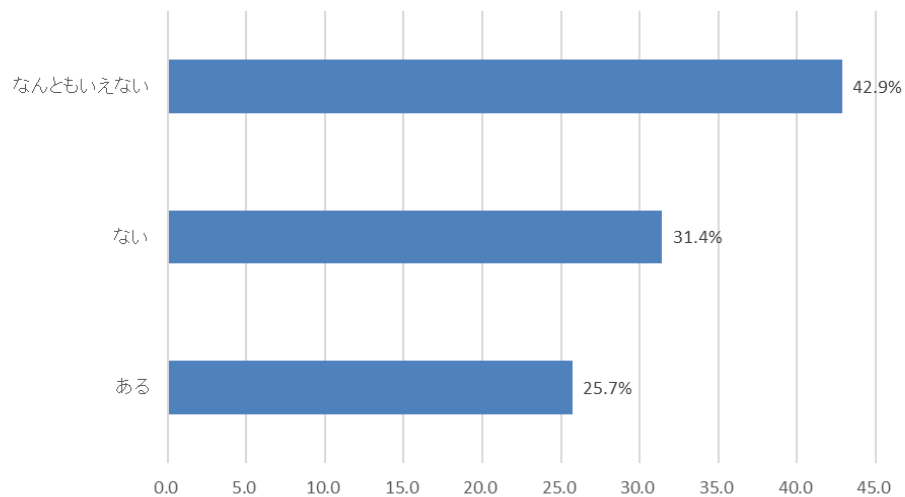
■志望校を生徒に薦める際、大学入試改革による変化の有無について「ある」が2割以上

さらに、「大学入試改革により、志望校を生徒に薦める際、例年と比べ、何か変化はありますか」（選択肢型）を聞いたところ、「ある（25.7%）」との回答があり、志望校を生徒に薦める際、大学入試改革による変化の有無について「ある」が2割以上に上った。

次に、「ある」と答えた先生方に「その理由」（記述型）を聞いたところ、「外部試験を活用するかどうか」「外部試験の重要性が増す」といった「外部試験」に関するもの、「入試方式の複雑化」「入試の中身の変化」「入試スタイルの多様化」といった「入試」全般に関するもの、「推薦枠への興味」「推薦入試の利用」といった「推薦」に関するもののほか「思考力を試す問題が増えた」「リスニングの扱いが大学ごとに異なる」などがあつた。

大学入学共通テストでの「民間試験」の活用は延期されたが、志望校を生徒に薦める際、大学入試改革による変化の有無が少なからずあると考えていることがうかがえる。

[Q37]大学入試改革により、志望校を生徒に薦める際、例年と比べ、何か変化はありますか。(n=35)

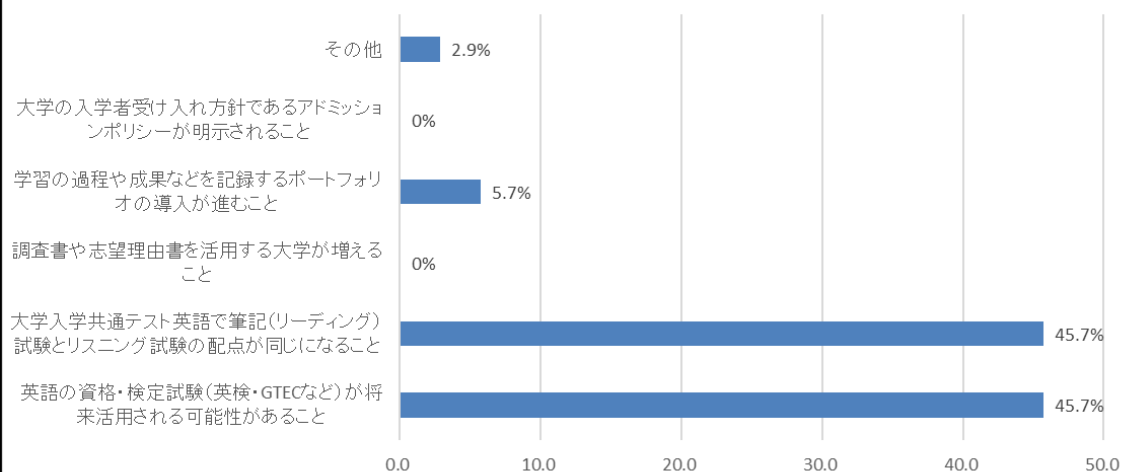


■文部科学省による大学入試改革について最も関心があるのは「英語の資格・検定試験（英検・GTEC など）が将来活用される可能性があること」と「大学入学共通テスト英語で筆記（リーディング）試験とリスニング試験の配点が同じになること」

また、「2019 年 11 月 1 日に大学入学共通テストによる「民間試験」活用の延期が決まりましたが、文科省による大学入試改革について最も関心があることは何ですか」（選択肢型）を聞いたところ、「英語の資格・検定試験（英検・GTEC など）が将来活用される可能性があること（45.7%）」「大学入学共通テスト英語で筆記（リーディング）試験とリスニング試験の配点が同じになること（45.7%）」が最も多かった。

大学入学共通テストでの「民間試験」の活用は延期されたが、「英語の資格・検定試験（英検・GTEC など）」や「リスニング試験」には大きな関心が寄せられていることがうかがえる。

[Q1]2019年11月1日に大学入学共通テストによる「民間試験」活用の延期が決まりましたが、文科省による大学入試改革について最も関心があることは何ですか。下記より一つお選びください。(n=35)



■大学入試改革による新大学入学テスト対策として、生徒に力を付けさせる必要があると考える第1位は「英語語彙力」

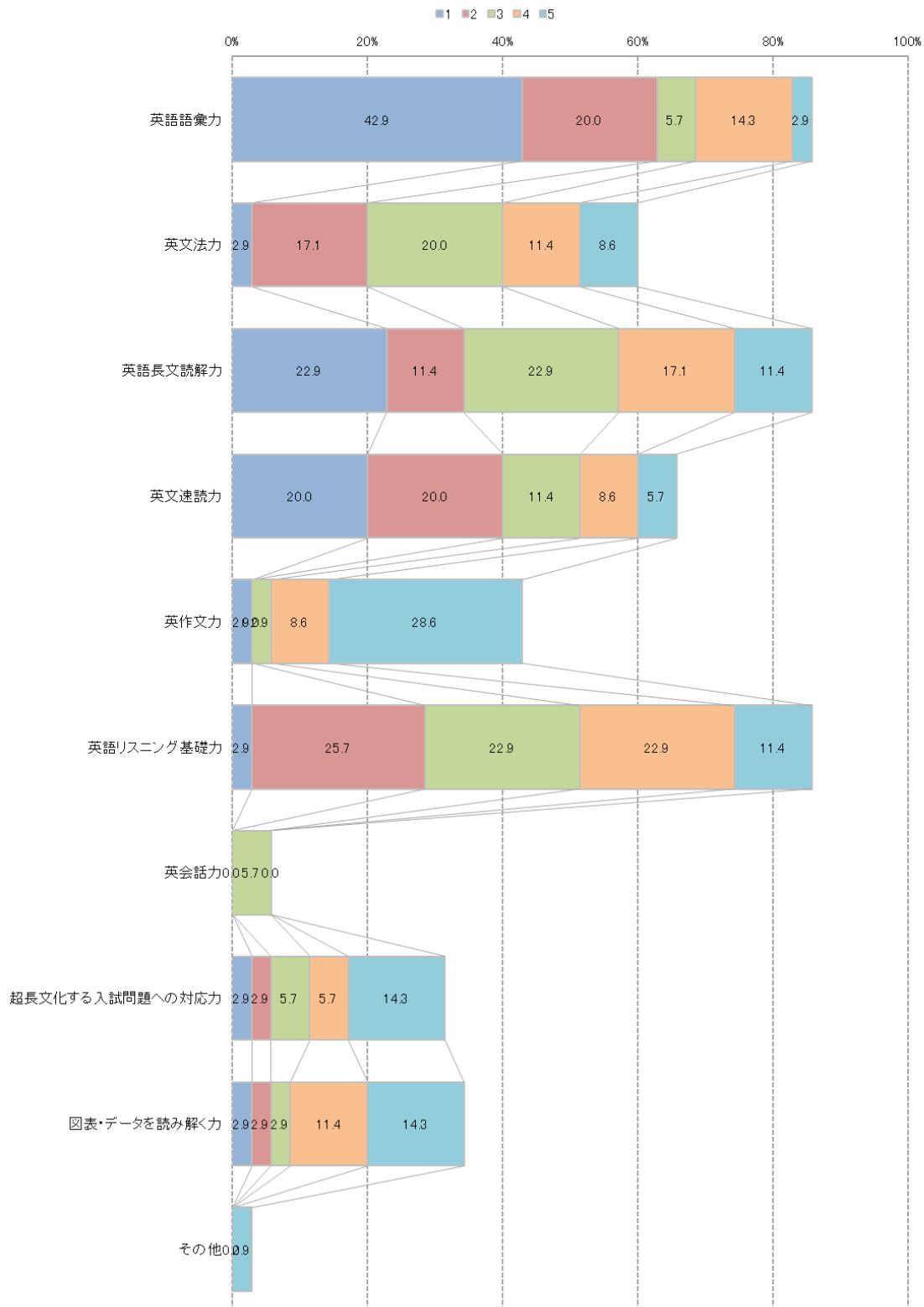
さらに、「大学入試改革による新大学入学テスト対策として、生徒にどのような力を付けさせる必要があると思いますか」（選択肢順番型）を聞いたところ、第1位として最も多かったのが「英語語彙力（42.9%）」、次いで「英語長文読解力（22.9%）」が続き、「英文速読力（20.0%）」が続いた。第2位として最も多かったのが「英語リスニング基礎力（25.7%）」、次いで「英語語彙力（20.0%）」「英文速読力（20.0%）」が続いた。第3位として最も多かったのが「英語長文読解力（22.9%）」「英語リスニング基礎力（22.9%）」、次いで「英文法力（20.0%）」が続いた。

また、第1位～第5位までのパーセンテージ総計で、最も多いのが「英語語彙力（85.8%）」「英語リスニング基礎力（85.8%）」、次いで「英語長文読解力（85.7%）」が続き、「英文速読力（65.7%）」「英文法力（60%）」が続いた。「英語語彙力」「英語リスニング基礎力」「英語長文読解力」「英文速読力」「英文法力」を付けさせる必要があると考えていることがわかる。

以上より「英語長文読解力」「英文速読力」を除くと、「英語語彙力」「英語リスニング基礎力」「英文法力」といった「基礎力」を付けさせたいことがうかがえる。当アンケートでは、新大学入学テストについての「自由記入欄」も用意したが、「高校英語に多くを求めず英語の基礎基本を定着させることに専念させる」「基礎的な力をつけることが重要」「これまで以上に語彙力や文法力が必要」といった「基礎力」に関するコメントが寄せられていることが、これらを裏付けている。

（下に続く）

[Q43]大学入試改革による新大学入学テスト対策として、生徒にどのような力を付けさせる必要があると思いますか。下記よりお選びいただき、重要なものから順番に1～5をつけてください。(n=35)



■大学入試改革による新大学入学テスト対策として指導が必要であるとする第1位は
「英語4技能がトータルに育成される指導」

上記と関連して、さらに、「大学入試改革による新大学入学テスト対策として、どのような指導が必要だと思いますか」（選択肢順番型）を聞いたところ、第1位として最も多かったのが「英語4技能がトータルに育成される指導（40.0%）」、次いで「思考力・判断力・表現力が養成される指導（31.4%）」が続き、「大学入学共通テストで高得点が取れるような指導（20.0%）」が続いた。第2位として最も多かったのが「英語4技能がトータルに育成される指導（34.3%）」、次いで「思考力・判断力・表現力が養成される指導（31.4%）」が続き、「オールイングリッシュ・英問英答による指導（14.3%）」が続いた。第3位として最も多かったのが「アクティブラーニング型の指導（20.0%）」「思考力・判断力・表現力が養成される指導（20.0%）」「資格・検定試験で高得点が取れるような指導（20.0%）」、次いで「英語4技能がトータルに育成される指導（14.3%）」が続いた。

また、第1位～第5位までのパーセンテージ総計で、最も多いのが「思考力・判断力・表現力が養成される指導（94.3%）」「英語4技能がトータルに育成される指導（91.5%）」、次いで「大学入学共通テストで高得点が取れるような指導（79.9%）」が続き、「アクティブラーニング型の指導（57.1%）」が続いた。「思考・判断・表現力の養成」「英語4技能の育成」「大学入学共通テスト対策」「アクティブラーニング」が重要であると考えていることがわかる。

以上より「思考・判断・表現力の養成」「アクティブラーニング」といった学力養成の根幹に関わる指導と「英語4技能の育成」「大学入学共通テスト対策」といった知識・技能に関わる指導を重視していることがうかがえる。

当アンケートでは、新大学入学テストについての「自由記入欄」も用意したが、そこでも「学力養成の根幹」に関するコメントが多く寄せられている。「指導の仕方や生徒のモチベーション維持に課題が出てきそう」「大学教育に求められるものについてはもう少し幅広い視点で考える必要があるのではないか。技術だけを求められては人格形成に寄与しないと思われる」「対策本だけでは英語力の底上げにならない。本来の学力の涵養に至らない可能性が大いにある」「本質的に何をどう育成するためなのかという議論が少ない」「何を目指して指導するのか、統一が難しい」「思考・判断・表現力を授業でどのように問いかけ、育成していけばよいか、そのノウハウが大きく欠落している学校が多いのではないか」といったコメントが見られた。

また、同記入欄では「(英語) 知識・技能」に関するコメントも寄せられている。「4技能を大学入試において評価できるようにする取り組みは、高校の授業改善を促すことに繋がり有意義」「4技能を図る点は賛成だが、学校教育での指導法が不明瞭」「4技能向上を目指す英語教育は確かに大切だが、個人的には読む能力と書く能力の向上を優先させるべき」「4技能を伸ばすために各校で取り組みを進めている」「4技能が身につく指導を心がけて指導を行っている」「4技能をバランスよく身につけた受験生が評価されるような入試制度になり、学年教員団がそれに向けて一枚岩で指導ができるようになっていけばいい」といったコメントが見られた。

(下に続く)

[Q44]大学入試改革による新大学入学テスト対策として、どのような指導が必要だと思いますか。下記よりお選びいただき、重要と思うものから順番に1～5をつけてください。(n=35)

